

- ・創造する生徒
- ・心豊かな生徒
- ・鍛える生徒

藤花だより

平成28年度7月号
平成28年7月1日
さいたま市立大宮西中学校
TEL048(624)4339

「運動会」と「体育祭」

校長 佐藤和男

3年生が技術・家庭科の授業で育てていた、ミニトマトが鮮やかな赤い実をつけています。その実を嬉しそうに摘み取っている子どもたちの姿から、生き物を育てる喜び、収穫する喜びが伝わってきます。私はそんな子どもたちの様子を見て、心が温まる思いと元気をもらっています。梅雨に入り、はっきりしない天気が続いていますが、体育の授業では水泳指導も始まり、プールからは子どもたちの元気な、そして楽しそうな声が響いています。大宮西中学校は、梅雨空に負けず一段と活気付いています。

大宮西中の子どもたちは本当に素晴らしい！

この思いを再び実感できたのが、先日の第42回体育祭です。「BEST」～一人ひとりの笑顔に輝きを～の生徒スローガンのもと、6月18日（土）に実施しました。当日は、気温が上昇し、熱中症などが心配されましたが、途中で給水タイムを設け、安全と健康面に十分配慮しながらプログラムを進めました。お陰様で、大きな怪我や事故もなく終了することができました。保護者や地域の皆様には子どもたちの真剣に取り組む姿に対して、大きな声援をたくさんいただきました。さらに、PTA役員の皆様には、朝早くから、受付、自転車整理、来賓接待等でお手伝いをいただきました。本当にありがとうございました。

さて、体育祭当日の開会式で生徒会長が「運動会」と「体育祭」の違いについて話をしてくれました。私は、体育祭の予行練習で子どもたちに、「先生に細かく指示をされなくても、あなたたち一人ひとりが良く考えて、判断しながら行動し、自分たちで創り上げる体育祭に是非してください。」と話をしました。その話に関連して、本番で生徒会長が「運動会は、体を動かすことを目的とし、先生が運営するものです。それに対して、体育祭は体育の授業の成果を発揮する場で、生徒自身が運営するものです。つまり、生徒が、生徒のために、生徒自身が楽しめる体育祭を私たちでつくり出すことができる、ということです。今日はそんな体育祭にしましょう！」と呼びかけてくれました。

当日は、この言葉通りに学校をリードする3年生が中心となって、子どもたち自身でつくり上げる、生徒会長の呼びかけ通りとなった「体育祭」となりました。改めて感動し感心しました。まさしく、「助けあい」「協力しあい」「励ましあい」「学びあい」「お互いに声を掛けあい」等の「あい」のあふれる活動が様々な場面で展開されました。誠にうれしい限りです。

夏休みまで、あと20日となりました。期末テストも終わり、子どもたちは、ひとまずほっとしているところだと思います。夏休みは生活の中心が学校から家庭になります。家庭学習も計画的に取り組んでもらいたいものです。内容としては、宿題、復習、予習、自主課題があげられます。また、家庭学習の時間の目安としては、学年＋1時間、などいろいろあるようですが、大切なことは、家庭学習の内容と家庭学習の習慣を身に付け継続することです。

学校では今月から「藤花教室」も始まり、参加者は自主学習にしっかり取り組んでいます。各ご家庭でも、親子で家庭学習や生活習慣について、話し合いをしていただきたいと思います。

学期末にあたり、各学年ともに、授業参観並びに保護者全体会、進路説明会等を予定しています。生活、学習、進路などについて、学校・学年としてのご説明なども行う予定です。是非、多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしています。

今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

